

(4) 越路野・鹿島路地域

ア. 景観特性・課題

- 本地域は、眉丈山系を背後にし、活断層沿いにまちなみが形成されています。また、邑知潟を干拓、埋め立てた地区もあります。邑知潟や眉丈山系の豊かな自然景観とともに土砂災害や地震などに配慮した、災害に強いまちづくりが求められます。

邑知潟から眉丈山系を望む



J R 七尾沿線



- ・主要地方道七尾・羽咋線は、本地域と羽咋市街地とを結ぶ主要な道路です。その沿道では、そのほとんどが住宅ですが、工場や商業施設が点在していますが、結びつきがなくまとまりのある景観は形成されていません。
- ・J R 七尾線と平行して道路が走っており、車窓から眺める邑知平野はすばらしい景観を形成していますが、線路敷きと道路との間の草が伸び放題であり、積極的な維持管理が望まれます。

○ 住宅地（集落）



鹿島路町地内の細街路

- ・柳田、鹿島路町では、眉丈山系のふもとぎりぎりまで住宅が建ち並んでいて、山裾沿いに長く集落を形成しています。
- ・また、この集落内を道路が走っていますが、いずれも幅員が狭く、災害時の対応の遅れなどが懸念されます。また、低地側には、主要地方道七尾・羽咋線が走り、集落が低地側に拡大しております。

千路町地内



上中山町地内



・千路町は、かつては邑知潟の潟辺に立地した半農半漁の漁村集落ですが、昭和4年の大火後、集落内に格子状に道路が整備されました。現在は、かつて漁村集落とは思えないまちなみ景観を形成していますが、道路は狭く、敷地面積の小さな家が建て詰まっています。

・上中山町は、山あい立地する農（山）村集落ですが、地形的には散らばって住む散村集落の形態を残した景観を形成しています。この地区でも人口の過疎化と高齢化による畑地の柿の木などの農（山）村集落景観の喪失が危惧されます。



アズマ建ちの住まい

・この地域には、古いアズマ建ちの家が多く残っており、この景観にあわせ、新しく建てられたアズマ建ちの住まいもあり、良好な景観を形成しています。

○ その他



鹿島路のタブの木

・鹿島路のタブの木は、羽咋市指定の特別天然記念物に指定されており、この地区のシンボリックな存在であり、引き続き保全と周辺の再整備が必要です。



鹿島路公民館

・鹿島路公民館のデザインは、この地域特有のアズマ建ち住宅をモチーフにデザインされたものであり、この地域のシンボルとして周辺に調和した景観を形成しています。



眉丈台地自然緑地公園

・眉丈台地自然緑地公園は、周辺の樹林地とともに自然と調和した公園であり、日本海を眺める絶好のビュー・ポイントであります。

また、低地部では多目的なグラウンドもあり、PRなどにより積極的な活用を図るとともに、芝地や樹木の維持管理が必要です。

イ. 石川県景観総合計画の位置づけ

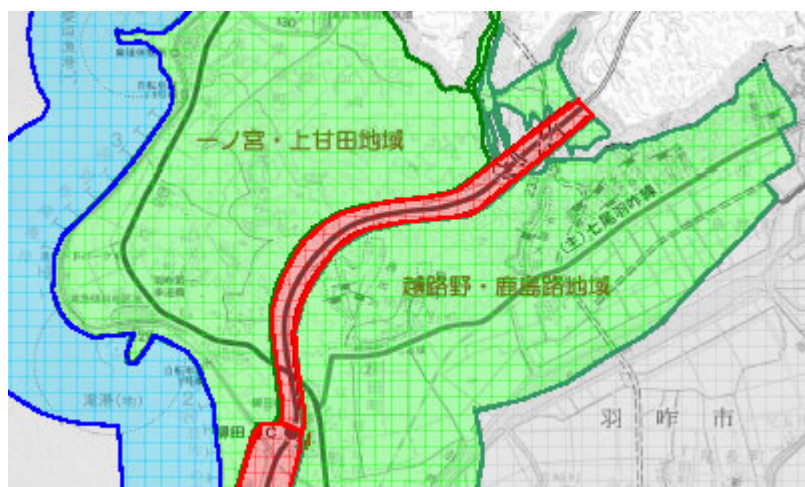


図 石川県景観計画 越路野・鹿島路地域
(74 頁参照)

凡 例	
	景観計画区域
	陸
	海
	景観形成重要地域
	特別地域

能登有料道路沿線については、道路境界線から両側 2 k m（北側は志賀町境界まで）を**景観形成重要エリア**に指定しており、地域の特性に応じた規制誘導を図っています。

また、より積極的な景観規制を図るため、その道路境界線より両側 1 0 0 m（柳田 I C 以南は両側 200m）を**特別エリア**に指定しています。その他の地域については、緩やかな規制誘導を行う**景観エリア**に指定しています。

ウ. 景観まちづくりの目標

目標 1：優良な自然・田園景観を保全する



邑知潟の田園と眉丈山系

・ 邑知潟の周辺に広がる田や集落等は、優良な自然・田園景観を形成しています。これらを羽咋らしさや羽咋の魅力を象徴する景観として捉え、可能な限り保全し後世に残していくことが大切です。

・ 邑知潟とその周囲の広がり、眉丈山系の連なり、自然・田園地域ならではの風景は、地形や自然条件等に根ざして形成されたものです。新たな建物などの立地に際しては、このような自然条件を損なわないようにすることが大切です。

目標2：優良な自然・田園景観に配慮した沿道景観



・背後地の眉丈山系の緑や邑知潟の田園などの広がりのある景観資源を大切にし、潤いのある沿道景観の形成が重要です。



沿道の人々が花を飾ってくれています

・通りに面して住民の手によって植栽をし、修景するよう努めることが望まれます。また、今後も持続するための仕組みをつくることです。

目標3：自然・田園風景を損なわない土地利用や建築物などのデザイン

・適切な敷地利用や建物デザインとすることが大切です。



新しく建てられたアズマ建ちの家



昔ながらの蔵群

・周辺の景観をよく観察し、環境になじみやすく人々が親しみやすいデザイン、建物周囲の緑化などの強調すべき要素や配慮すべき事柄を設計に組み込むことで、その住まい自体がより魅力的になります。